



こんにちは

白子の議会

です

第129号

平成30年8月23日

編集発行
千葉県白子町議会
☎0475(33)2169



▲町指定文化財・南日当獅子舞保存会

第2回 定例会

平成30年第2回定例会が6月14日に開催されました。
一般質問は、5名の議員が町政をただしました。

- 🍌 5議員が一般質問…………… 2～6ページ
- 🍌 承認内容に対する質疑応答、
こんなことが決まりました… 7～8ページ



一 般 質 問

町政をきく

子育て支援拠点について

宗島 理仁 議員

議員 政府は第三次少子化社会対策大綱で、地域での妊娠、出産、子育ての切れ目ない相談拠点である子育て世代包括支援センターをおおむね 2020 年度末までに全国に展開することを目標に掲げています。

乳幼児を中心とした親子が集い、子育てに関する相談や関連情報の提供を行う拠点づくりをすべきかと思いますが、見解を伺います。

既存の事業を手厚く

町長 児童館のない本町において、その拠点が必要かという疑問と難しさがあります。まず、現在行っている事業に厚みを持たせていきたいと思っています。

産後ケア事業について

議員 女性の心と体のケア、そして子育て環境も含めた産後の女性への包括的なケアが必要であり、全国で産後ケア事業を開始する自治体が増えています。

産後の生活を支援する事業を我が町においても取り組むべきかと思いますが、導入する予定はあるのか伺います。



医師会・保健所と協議

町長 7市町村で茂原市長生郡医師会、保健所と協議をしているところです。

なお、町では保健師による新生児の全戸訪問による新生児の発育状況や母親の健康状態などを把握して、個々の状況に応じた適切な対応をしています。

業務継続計画について

議員 災害時において発生する応急対策等を定めた業務継続計画では、役場庁舎が使用不可能となった場合、執務場所となる代替施設は第一に青少年センターとし、代替施設として活用できるように執務環境を確保するとしています。

現在、住民票等にアクセスできる環境が整っておらず、今後計画的な整備が必要かと思いますが見解を伺います。

引き続き検討していく

町長 災害に強い代替ネットワークとして、他回線に比べて復旧の早い 3G 回線を検討していますが、ランニングコスト等の問題があり、引き続き検討しているところです。

健幸ポイント事業について

議員 S I B を活用した健幸ポイントの取り組みについて、具体的にどのような事業内容なのか伺います。

3市町が連携

町長 3市町が共通の民間事業者による事業運営の多くの部分を委託し、共通システムを利用することで、効率よく質の高いサービスを展開し、事業を維持・拡大することを目的とした事業です。

中小企業の設備投資を促す制度は

東海林 東治 議員

議員 国では、生産性向上特別措置法を成立させ、今後3年間で中小企業の設備投資を促し、生産性向上を図る事を目指しております。

一つ目に市町村が、新規取得設備の固定資産税を3年間ゼロにする事を盛り込む導入促進基本計画を作り、その計画への経済産業大臣の同意を得る事。

二つ目に市町村にある中小企業が、年平均3%以上の労働生産性の向上を見込む先端設備等導入促進計画を作り、市町村の認定を受ける事。

三つ目に固定資産税の特例率を市町村が条例で定める事とあります。

この制度を活用し、町内の中小企業の設備投資を促し、生産性向上を図る事の支援をすべきと思いますが当局の見解を伺います。

即 実行推進

町長 中小企業の設備投資を促す制度の支援でございますが、固定資産税の課税標準を最大3年間でゼロに軽減する条例案を今議会に提案致します。議会に置かれても協力を頂きたいと思えます。



補助制度の活用は

議員 生産性向上特別措置法の成立を受けて、四つの補助金制度があります。

ものづくりサービス補助金とIT導入補助金については、追加申請受付があると思いますが、積

極的に制度活用を商工会並びに観光協会、ホテル組合等々に推進を図るべきと思いますが、見解を伺います。

積極的に情報発信

町長 3年間ゼロにする事によって、ものづくり補助金等の四つの補助金については、白子町の中小企業は優先採択の対象になる事でありませぬ。金融機関、商工会では

文書で関連企業等に情報提供しておりますが、今回の固定資産税の軽減が条例採択されましたら町として、情報周知を積極的に図ってまいります。

障がい福祉計画について

議員 第5期白子町、障がい福祉計画、第1期白子町障がい児福祉計画が打ち出されました。様々な自立支援給付がありますが、どの様に自立に繋がっていくかの基本計画と実施計画施策の方針が見

えてきません。見解を伺います。

また、知的障害、精神障害、身体障害者手帳の所持者数と3障害者数の数値に隔たりがありません。手帳揭示によって受けられるサービスが数十項目ありますが、このサービスが活用されているのか状況を伺います。



情報提供と協力支援

町長 地域生活支援事業の必須事業は、10事業中7つの事業であります。

地域の住民に対して障がい者等に対する理解を深める為、普及啓発を目的とした広報活動を実施してまいります。

自発的支援事業は、障がい者の家族、地域住民による自発活動に対し、情報提供や協力支援に努めて参ります。

障害者手帳は、重複者の方がありません。重複者の違いがあります。

障がい児支援体制は

議員 支援を提供していく為の児童発達支援ガイドライン、放課後等のデイサービスガイドラインを定め、その活用の徹底が求められております。

障がい児童支援の中核的な施設となる児童発達支援センターの配置状況を伺います。

集団生活の適応

健康福祉課長 児童発達支援センターは、長生管内で1カ所、社会福祉法人九十九里とつくも幼児教室へ2名が通所、放課後デイサービスに2名、保育所等相談支援は1名が利用しております。

白子町第5次総合計画は

これで良いのか

石井 和芳 議員

議員 10年前の第4次総合計画と今年度に出た

第5次総合計画が目次からしてほぼ同じで、内容に至っては、そのままコピーしたものがほとんどであります。総合計画とは、地方自治体において最上位の計画であり、町の基本理念、未来像、町づくりが体系的に示されたものです。

10年前と内容が同じということは、計画を実施して来なかったことになります。今後計画行政に重点を置くつもりがあるのか伺います。

予算編成で対応

町長 本町の第4次、第5次の総合計画は、基本構想と基本計画の2層構成にして、単純な構成になっていきます。よって実

施計画を廃止しました。

社会状況等を踏まえ、優先的、重点的に取り組む必要のあるものは毎年度検討し、予算編成で生かす対応をしています。

議員 一般的には、自治体でも企業でも総合計画

があればそれに伴う実施計画があるのが当然です。今、白子町で行われている行政は、計画行政ではなく、場当たり行政であることが、一番心配しているところですが見解を伺います。

町長 やはり2〜3年のスパンで計画行政はしていくし、して行かないといけないと思っています。



人口受け入れ、定住促進策は如何に

議員 第5次総合計画で

は、若年夫婦を10組移住させれば、小学校の統合もなく、人口減少がかなり抑え込める、としています。こんな机上論ではなく、本気で人口減少に取り組みつもりがあるのか伺います。

地方創生で対応

町長 4次総合計画で足らなかつたものは何か、5次総合計画ではそれをどう生かすのか、であるが、これは想定外の人口減少です。現在地方創生推進交付金を活用して、定住に向けた方針を出し、情報発信もしています。

町の中心地づくりは如何に

議員 第3次総合計画では、白子インター周辺、役場周辺、中里周辺に良い構想があったのです

が、全く手つかずの状態が現在に至っています。第5次計画では町づくりをどう進めて行くか伺います。

計画を継続

町長 町の中心地づくりにおいては、3つの拠点になっているが、なかなか進まず大変遅いというのが現実であります。基本的に第5次総合計画においても考え方は変わらないところであります。

組織、機構の見直しはしなくてよいのか

議員 他町村に比べ白子町が組織的に劣っているところは、企画課がないことです。一般企業であれば社長直属の総合企画部が存在し中長期の計画から、年度計画まで作成されます。行政組織においてもこの分野が重要部門と言えます。

昨年3月議会の一般質問で機構改革について質問しましたが、いくら

課を作っても発想力の豊かな人がいないと良い企画は生まれぬ」という答弁でした。

私が思うには、人材の問題ではなく、使い方、マネジメントの問題とあります。他町村はほとんどん先に行っていました。それでも機構改革はしないつもりなのか伺います。

総務課で対応

町長 企画がないという指摘ですが、各課でそれぞれ企画し、集約し総務課でそれぞれ取りまとめています。必ずしも企画課がないから100%その機能が果たせないということではありません。

行政事務改革は

議員 第5次総合計画の作成を見ても事務改革は必要と思うがどう改善しますか。

町長 職員個々のスキルアップを図っていきます。

空き家対策について

北田 百人 議員

議員 今年4月に家を売りたい、借りたい物件を登録して、希望者に紹介する空き家バンク相談窓口を役場総務課に設置しましたが、現時点での相談件数を伺います。

正式登録は4件

町長 空き家対策についてですが、対象633件のうち269件を選定して、調査したところ、5月末時点で問い合わせ等は50件、10件の登録申請希望があり、そのうち、正式に登録されたのは4件でした。需要と供給をうまくみ合わせるような対応をして行きたいと考えています。



農地付き住宅の下限面積の減少について

議員 農地法では、農地取得の下限面積として、原則都道府県では50a、北海道では200aと定められておりますが、平成21年12月施行の改正農地法により、農業委員会が区域内の全部、または一部について特別な面積を定め公示した時は、その面積を下限面積として設定できることになりました。我が町では下限面積が50aですが、農地付き空き家を取得するための下限面積を減少できないか伺います。

農業委員会と協議

町長 農地について、全部または一部の権利を移動させる時は、農地法第

3条の規定があり、農業委員会の許可が必要となります。非農家が安易に農業をはじめるといふことは、結構なことでありませんが、小面積の場合、趣味の域との判断が困難な為、依然として50aの下限面積を要件としております。

地方創生で空き家バンクが出てきた中で、宅地介在の農地位は購入できるようにするというのが議員の趣旨と察しますが、現実に出てきたとき、状況判断により農業委員会と協議していきたいと考えています。

防犯カメラ設置に於ける計画策定について

議員 現在我が町では昨年より9台の防犯カメラが稼働していますが、今後の増設に関する計画や設置場所の策定条件について伺います。

柔軟な考え方で対応

町長 防犯カメラの設置については、警察や地元自治会等と協議して、犯罪の発生する心配のある場所に設置しました。

設置から1年少々経過した中で、現在のところ早急な見直し等が必要な状況ではなく、今後も柔軟な考え方で対応していく方針です。

また、防犯指導員の会議等で要望のあった家庭用防犯カメラの設置には、町の補助金を交付しています。最近、昼間の留守宅を狙った空き巣、無施錠の倉庫を狙った盗難も発生しています。倉庫では何ヶ月も経ってから盗難に気づき、警察にも届けられないという状況もあります。

議員 設置にあたって、補助率補助金額を伺います。

総務課長 町の補助率は総事業費の三分の一、上限が5万円です。

南日当橋の進捗状況は

議員 平成29年度に完工予定であった、南日当橋橋梁事業について、その後の進捗状況を伺います。

今年度中に

町長 南日当橋は、東日本大震災の復興事業を活用し工事を進めて参りましたが、国の交付金が大幅に削減されたことにより、完工が1年遅れるという事態になりました。

今年も交付金が大きく減額されてしまったものの、同じ道路を、しかも、復興事業で進めた道路を何年もそのままにし、住民に供用ができない状況は困るといふことで嘆願し、予算確保につなげることができました。

その為、今年度中に完工させ、道路整備まで終了させる予定です。



ひまわり長寿プランの内容 について

市川 隆子 議員

議員 高齢者の社会保障制度として施行された介護保険は、その後は見直しが次々と行われました。

一連の見直しの中で、介護保険制度の理念は、介護の家族化へとシフトされ、現在は地域包括ケア構想や総合事業のもとで、公的給付がボランテニアに変わろうとしています。が、ひまわり長寿プランについて、3点伺います。

①ひまわり長寿プラン策定にあたり、アンケート調査を実施しましたが、この結果をどのように見るのか。

②地域包括支援センターは、多くの事業を抱えています。が、機能強化はどのように進めていくのか。

③認知症高齢者が共同生活するグループホームの整備計画はありますか。

が、通所介護は見込みなしの理由など、3点伺います。

高齢者が安心して暮らせるまちづくりを

町長 ①事業計画策定に向けて、生活状況等の支援などを把握するために実施したものです。

これを踏まえて、健幸ポイント事業の参加者維持、拡大、ひとり世帯や夫婦世帯等の状況を把握し、地域課題について、関係機関との連携を図りながら、地域で安心して暮らせるまちづくりを推進していきたいと思えます。

②現在、保健師1名、社会福祉士1名、主任介護専門員1名で対応しています。

平成26年度の法改正により、地域包括ケアシ

テムの構築、認知症初期集中支援チームの実施など、職員の負担は大きくなってきているので、7期計画中に1名ほどの増員をしなければならぬと思っております。

③昨年度、地域密着型通所介護1事業所が開設され、7期計画中に広域型通所介護事業所開設の見通しなので、整備計画は定めていません。

今後認知症の方の増加が見込まれますので、第8期事業計画への整備計画を検討していきたいと思っております。



小・中学生の 歯科健診結果は

議員 学校では毎年歯科健診が実施されていますが、虫歯の早期発見、予防は大事です。虫歯が

見つかった場合は治療しなければ歯を失ってしまいます。

小・中学校の歯科健診結果と予防の取り組みを伺います。



歯の健康、虫歯予防 に取り組んでいく

教育長 平成29年度の歯科健診結果は、3小学校合計で受診者432人、虫歯罹患率15人、中学校受診者220人、虫歯罹患率41人です。

健診結果については、夏期休業前に保護者に治療依頼の文書を通知し、教育相談を利用して、学級担任からも直接治療するよう話しています。

虫歯予防の取り組みとして、小・中学校では、歯科衛生士による歯科指導の実施や、歯磨きカレ

ンダーの配布など、歯磨きの定着に取り組んでいます。

また、昨年7月からは保育所・小学校で、虫歯予防に有効である、フッ化物洗口を実施しており、今後の効果が期待されます。

住宅リフォーム助成制度への補助金 代理受領制度を

議員 補助金代理受領制度は、申請者が工事にかかった費用の全額を業者に支払う必要がなくなり、耐震改修工事や、住宅リフォーム助成制度のある自治体での実施が広がっていますが、町では実施についてどのように考えるのか伺います。

もう少し様子を見たい

町長 この制度は、補助金の大切さが少々薄れてくるということで、もう少し様子を見たいと思っております。

承認内容に対する 質疑・応答

白子町国民健康保険税
条例の一部を改正する
条例の専決処分事項の
承認を求めることにつ
いて

承認第2号

【市川隆子 議員】

議員 今回の限度額の
引き上げは、国保の中
の高額所得者といわれ
る方だと思いますが、
その対象世帯数と影
響額を伺います。

また、軽減対象が
拡大されましたが、
その対象世帯数と影
響額について伺いま
す。

税務課長 新しい限度
額の対象世帯数は46
世帯で、影響額は28
万8千円となります。

また軽減については、
5割軽減が31世帯
31万8千円の減額、
2割軽減が256世
帯10万3千円余りの

減額となり、合計で42
万円強の減額となる試
算結果となっております。

こんなことが
決まりました
定例会(第2回)
議案の内容

請願書

【請願第1号】

「義務教育費国庫負担
制度の堅持に関する意
見書」採択に関する請
願書

請願者 子どもたちの
豊かな育ちと学びを支
援する教育関係団体
千葉県連絡会

(採択)

会長 齋藤 晟

【請願第2号】

「国における平成31
年度教育予算拡充に関
する意見書」採択に
関する請願書

請願者 子どもたちの
豊かな育ちと学びを
支援する教育関係団
体千葉県連絡会

(採択)

会長 齋藤 晟

発議案

【発議案第1号】

義務教育費国庫負担
制度の堅持に関する
意見書

提出者 宗島 理仁
賛成者 北田 百人
今井 信夫
市川 隆子
大多和 秀一

板倉 正道
齋藤 豊彦
梅澤 哲夫

(全会一致で可決)

【発議案第2号】

国における平成31
年度教育予算拡充に
関する意見書

提出者 北田 百人
賛成者 宗島 理仁
今井 信夫
市川 隆子
大多和 秀一

板倉 正道
齋藤 豊彦
梅澤 哲夫

(全会一致で可決)

承認

【承認第1号】

白子町税条例等の
一部を改正する条
例の専決処分事項
の承認

■ 地方税法等の一部
を改正する法律等が
公布され、当該条例
の改正の必要が生じ
たため、所要の整備
を行ったものです。
(承認)

【承認第2号】

白子町国民健康保
険税条例の一部を
改正する条例の専
決処分事項の承認

■ 地方税法等の一部
を改正する法律等が
公布され、当該条例
の改正の必要が生じ
たため、所要の整備
を行ったものです。
(承認)

【議案第1号】

特別職の職員で非常
勤のもの報酬及び費
用弁償に関する条例
の一部を改正する条
例の制定について

■ 産業医の報酬につ
いて、近隣市町村の
支給状況を考慮し、
報酬額の改定を行
うため、所要の改
正を行ったものです。
(可決)



永年在職議員表彰



第 2 回定例会において、議員に対し表彰状の伝達が行われました。

この表彰は、千葉県町村議会議長会より、永年にわたり地域振興と地方自治の進展に尽力された功績により表彰されるものです。

本町から 2 名の議員が表彰されました。心からお祝い申し上げます。



特別自治功労者

(議員在職十八年以上)

齋藤 鉄也 議員

(写真左)

大多和 正之 議員

(写真右)



町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は 9 月 10～13 日の予定です

詳しいことは議会事務局へ。TEL 33-2169
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

編集後記

猛暑が続く 7 月 23 日に、熊谷市で観測史上の最高気温を 5 年ぶりに更新した。

実に 41 度と、体温より 5 度以上高い気温である。また、この猛暑も 8 月上旬まで続くとのこと、いつ更新されるかわからない状況である。

西日本豪雨では、二百数十人の犠牲者を出し、地球温暖化による気候変動だけに起因するものだと片付けられないと思われまます。

災害が起こる度に決まって出る言葉に「想定外の」があります。白子町の防災対策もこの「想定外の」という言葉を使わないで済むように、万全を期していかなくてはならないと思います。

石井 和芳